

国語科教育にかかわる現状と課題

部長 桑原 哲朗

1 国語科教育の動向

【上越地区】

柏崎市刈羽郡・大洲小学校では「『伝え合う力』を高める子どもの育成～対話を通して学びを深める～」をテーマに、片桐智子教諭・小林麻衣教諭が授業公開を行った。市教育センターとの共催による研修講座も複数回実施されている。

上越市は副題である「理由を明確にして書く力を伸ばす指導の工夫」に焦点付けて取り組み、直江津市立東中学校で授業公開（県中教研指定国語研究発表会との合同）を実施した。

【中越地区】

小千谷市・東小千谷小学校では「自分の考えをもち、互いに伝え合う子どもの育成」をテーマに、全学級での授業公開（国語は、1・2・3・5・知・情）を、川池教頭、桑原教主、大川研主、中澤生主がリードした。十日町市中魚沼郡・田沢小学校では文部科学省教科調査官を指導者に迎え、生活科での体験を作文に結びつける授業を恩田研主の指導のもと下鳥陽代教諭が授業公開を行った。

【下越地区】

五泉市・五泉南小学校では新教材を扱った授業公開（岩崎直哉教諭）が行われ、教材研究では言語活動をどのように工夫して位置づけていけばよいのか熱心に話し合われた。東蒲・西川小学校では伝統的な言語文化である俳句を扱った授業公開（石塚恵美教諭）を行い、言語感覚を磨く指導の工夫をしている。

【新潟市】

「生きてはたらく『国語の力』の育成～『読む力』を高める言語活動の工夫～」をテーマに東地区・中央地区・西地区で、それぞれ3つの授業研究が行われた。また、8月には筑波大学附属小学校から講師を招いて講演会を実施している。

2 国語科教育の課題

- (1) 言語活動を作業のレベルで捉えていて、思考力・表現力を育成する学習活動として不十分などところがある。文部科学省『言語活動の充実に関する指導事例集』（2010.12）を熟読し類似の授業を参考に授業改善を行う。
- (2) 付けたい力を明確にし、学習過程の工夫ができるようになったら、評価規準に基づき適切な評価方法を用いて評価を行い、次の指導に生かす。国立教育政策研究所『評価方法等の工夫改善のための参考資料』（2011.3）を活用する。
- (3) 多様な価値観を認め合い、コミュニケーションを図り「義と和の心」を大切にする新潟の子を育てるという大局的な見地からも国語の指導を行う。